

# Eastspring Asia Now

Vol.47

「クリーン・インド」で道路建設

eastspring  
investments

## 自国のリサイクル技術でインフラ整備を促進

### プラスチックの再利用で環境対策

- ▶ 衛生環境の悪さが経済発展の障害とも言われているインドでは、モディ首相が2014年に国内の衛生状況の改善を目指す「クリーン・インド」政策を開始しました。近年、世界的な環境問題となっているプラスチックごみについても、2022年までに全土で使い捨てプラスチックを全廃すると宣言する等、国を挙げて対策が行われています。
- ▶ インドで取り組まれている対策の中で大きな効果が期待されているのが、「プラスチックごみによる道路舗装」です。これはインドのシアガラジャ工科大学の教授が開発した技術で、細かく粉砕したプラスチックごみをアスファルトに混ぜて重合ビチューメンと呼ばれる合成物を作り、道路の舗装に使用します。プラスチックごみを混ぜたアスファルトは雨水が染み込みにくいという利点もあり、モンスーンの時期に水害が増えるインドにおいて、道路の耐久性の向上という面でも期待されています。
- ▶ インドではごみのリサイクルが推進されていますが、レジ袋等の再利用できないプラスチックごみは街中にポイ捨てされ、衛生環境悪化の原因となっていました。そこで、プラスチックごみによる道路舗装を進めている市では、プラスチックごみの買取を開始。1キロ10円ほどで買い取られるようになると、多くの人が街中のプラスチックごみを拾い集めるようになりました。何度もごみを持ち込んで新たな収入源とする人もおり、貧困対策としての効果も現れています。

#### 【国道整備計画の進捗状況】（2017年末、単位Km）

	全長	完成済み道路
黄金の四角形道路	7,522	7,521
4/6車線道路	12,125	7,962
2車線道路	20,000	8,285
高速道路	1,000	0
環状線、バイパス、高架道路、その他	700	24

出所：インド国立高速道路局のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

#### 【インドの国際競争力順位の推移】

	2014年版	2018年版
総合順位	71位	58位
道路の質	76位	51位

出所：世界経済フォーラム「The Global Competitiveness Report」のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。2018年版より新評価法に変更。

### 経済成長に向けたインフラ整備

- ▶ 2014年に首相に就任したモディ首相は、「メイク・イン・インド（インドでものづくり）」をキャッチフレーズに掲げて製造業の振興を政策の柱とし、製造業の発展に欠かせないインフラ整備に力を入れています。コスト競争の厳しい製造業では、輸送コストを抑えるという意味でも物流ルートの確保は必須であり、道路整備が急務となっています。モディ首相によるインフラ政策の推進もあり、インドの国際的な競争力の総合順位、道路に関する順位も近年上昇傾向にあります。一方で増加する交通量に整備が追いついていない部分もあります。
- ▶ インフラ整備には莫大な費用が掛かりますが、プラスチックごみによる道路舗装は予算確保という問題にも利点があります。プラスチックを混ぜ込んで作るため、アスファルト製作に必要な高価な原料を約15%節約することが出来、加工に掛かる費用を考慮しても、同じ量のアスファルトと比べて3分の1程度の費用で作成出来るとのこと。安価な道路建材資材を国内で供給出来るということは、今後のインフラ整備を後押しする要因になると期待されます。
- ▶ プラスチックごみを利用した道路建設は、既に10以上の州で10万キロメートル規模で実施されています。2015年にはモディ政権が道路開発業者に対し、プラスチックごみの利用を義務付けており、プラスチックごみ再利用の技術を外国に輸出する計画も上がっています。今後のインドの環境に対する取り組みに注目です。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。\*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード（アジアインベスター誌選出、2017年度対象）をイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが受賞。

#### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



**アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞\***  
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に3度目の受賞

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。